

着任の挨拶でも述べましたが、本当に時間がたつのは、特にこのコロナ禍となってからの1年は早かったと思います。

前の永井校長先生が、今からちょうど1年前の1学期始業式で話された「水泳選手・池江璃香子さんの話」を覚えていますか。白血病と闘い、ひたむきに努力されている池江選手について、永井先生は話されましたが、2024年のパリ五輪を目指して頑張ると言われていた池江選手が、この日曜日に決定した東京五輪への出場を、今から1年前に、一体だれが想像していたでしょうか。

「努力は決して裏切らない」と、インタビューに答える池江さんの姿をテレビで見て、私も含めて、多くの人が心を動かされたと思います。夢の実現を願い続けることや、一生懸命の日々を積み重ねることの大切さを、私たちに改めて示してくれた今回の快挙に、みんなが拍手を送ったと思います。

コツコツと日々努力を重ねることの大切さといえば、私の好きな相田みつをさんの詩に「我が子へ」という詩があります。よければ、また調べてみてください。

さて、2年生、学校の中核の学年です。

明日入学してくる新入生からは先輩として見られると同時に、

今前にいる先輩の姿を追いかける、そんな1年間は、

中だるみしやすい学年ともよく言われます。

気を引き締めて、学校を引っ張ってください。頼りにしています。

3年生は、本校を巣立つまで1年足らずです。

考えることや決めること、何よりも夢を実現させるためにすべきことが山ほどあるからこそ、より一層、あっという間に時は過ぎます。

どうか一日一日、一瞬一瞬を今まで以上に大切にし、

来年3月1日の卒業式での笑顔を、より一層輝くものにして下さい。

まだまだコロナウイルス感染症の収束が見えません。今まで続けてきた予防対策を今後も続けるようお願いします。

これから始まる一年、皆さんが一生懸命に頑張っているときのキラキラした目と、たくさんの笑顔が見られることを期待して、1学期始業式の式辞とします。